或

政第

線

区

牆

長城突破孫匪

討伐を

關東軍遂に通告

武官室發表

田外相との間に独め打合せがあったが、此問題についてはサー日間一般の大使館昇格に関してはサーローのでは、此問題についてはからったが、此問題についてはからない。

は、 博へしめる事となつた、而し は、 博へしめる事となつた、而し で満洲國公使館の大使館昇格 により現公使了士源氏は勇退

は「する機様で初代大使は前宮内」 所が任命される模様で公使館の が任命される模様で公使館の 大使館昇格は今月中に實現の

様的一億四千萬圓の社債發行 の策定で既に第一回分三千萬 画程度の發行を目論んで来た が、最近金融情勢の推移は一 が、最近金融情勢の推移は一

大藏省預金部長

る事とならう

金子氏來京

***)

矐

「北平廿一月發國通」 北平武官室發表 一關東軍は數ケ月來屢々熱河省南部に 出沒する孫永勤匪を討伐せしが、該匪 走し支那官憲は之に對し庇護するの態 走し支那官憲は之に對し庇護するの態 が、該匪

重を掃蕩する處置をとる旨通告した 鉄代理鮑文樾に對し支那官憲の不信行 鉄代理鮑文樾に對し支那官憲の不信行 以上、關東軍は已むを得ず長城以南に 以上、關東軍は已むを得ず長城以南に では出し獨力を以て遵化を根據とする該 が代理鮑文樾に對し支那官憲の不信行

大使の

歸

を待ち

を急く時は起債界全體に多大 を急く時は起債界全體に多大 を急く時は起債界全體に多大 を急く時は起債界全體に多大 で懸案の消鐵社債設行は途に で懸案の消鐵社債設行は途に

大蔵省預金都長金子隆三氏は大蔵省預金都長金子隆三氏は東京、一、二兩日淵京、三日吉林往復、四日午前九時哈開雲へ向け出設し五日午後七時二十五分引返し六日午前十時二十五分引返し六日午前十時二十五分引返し六日午前

(8

萩

原部

よれば遺化附近

に週走せ

る孫永勤堕掃蕩の

熟

河警備隊萩原部隊の兵〇〇〇

日二十二 月 五 料度 定率 酸行

國 列車通過及び税關手續き 稅關 調印さる 協定 印细型 80 80 F7 ٨٨٨



所

,金齿 佩斯

部

當

局談

感よ簡恵とな

高橋駐平武官

集社

が匪團に

線を行 越動な | 八進路中|

で部

津暗殺事件を中心に北支懿の一の海關特務機關長と會見、一の海関特務機關長と會見、

| 東津中の儀我 心に北支諸問

> 題につき重要協議を遂げるも と見られてゐる

遵小選字縣 成方面に退却せり相管の 以害を與へたり孫胆は

手證政府證 保證內譯 於參传 使

胡河北省

建設廳長辭職

租稅、印紙收入

日三十二月五年

通及飛闢手續き簡捷に關する 通及飛闢手續き簡捷に關する 地離稅關協定聚は愈よ日本樞 密院並に滿洲國參議府の諮詢 を經たので、廿二日午前十一 時外変部大臣室に於て駐滿日 本全閣大使南次郎大將と淅洲 本全閣大使南次郎大將と淅洲

十 和 昭

天津へ (北平廿一日競网通)高橋駐平武官は廿二日午前八時設列 平武官は廿二日午前八時設列

開東電殺表り

爲出助中二十日 附近に於で孫永勤鹿の集結せ 中熱河警師隊の 午後遊化東南方八キロ尖山屯

砲撃を加ふ

國

公館は

樓 1511 西京新山

るに財

ない。 は原理をはいる。 は原理をしませる。 を必要をしませる。 を必要をしませる。 を必要をしませる。 を必要をしまする。 をの必要としなる。 をの必要としなる。 をの必要としまする。 をのとしまする。 をのとしまる。 をのと。 協の場合と仲較するときは貨棚の総出入に對する通關手續 なの障害は殆んど考慮を要せざる程度に輕減せらるる次第

他つて之を関境が船車連絡 に資物が船車連絡 に資物が船車連絡 に資物が船車連絡 での標の積卸を がの積が船車連絡

事往來

内面的苦心も買つてほしい

の横綱等昔は見られなかった。武蔵山積綱に昇格、黒星二つ

登祭を前にして單なる努力の

▲李紹庚氏(新任×通部大臣) ・ 二十一日午後六時來京中央 ・ ボデルへ ・ 成澤尙氏(黒河省總務廳長)

前グス/社神東新 **完 器 春 長** (意 随 院 A) 番ー四二六語電 ヶ善三無

10二、200 超公画

【東京國通】昭和九年度の租 程度豫算に比較して約七千萬 長近大職省の調査によれば九 年度豫算に比較して約七千萬 程以來の增收を見るものと豫 想されるに至つた。これは最 想されるに至つた。これは最 想されるに至つた。これは最 想されるに至つた。これは最 が結果は十一年度の豫算にも が結果は十一年度の豫算にも 九億圓突破 氏(新潟醫科大學教

The state of the s 春から夏にか

小兒に特有の病気で 特に多い

當して下さい 悪化しない内に早く手構ひなしに苦しめます 來る執拗な咳が晝夜お 熱はなくとも時間的に

日本 田山し、罹患してから 早期に奥ふれば未然に

日敷を短縮します。 ても、經過を軽く治

味が甘いので暮んで服み、 作を和らげ、安眠を得せ 作を和らげ、安眠を得せ

ふる公文を 事法 司部 台 正 氏 は 3

轉、結と部を分つてそれぞ 要」はその式でこしらへた 要」はその式でこしらへた 要のだ、迎の部、承の部、 たが、やつてゐるい

「禰州國公文携要」を中心に 語を教へてゐる城合氏を訪ね 語を教へてゐる城合氏を訪ね

が出來て全体的に統一されがなく書ちくくになつてるがなく書ちくくになつてる

れに體富な文例を輯錄した んだ、二百六十頁くらゐの 本になるからかなり役に立 つことが出來るだらうと想

(八)

洲國で用

だつた、もうすつかり組版だつた、もうすつかり組版だつた、もうすつかり組版だった。と序文だけつければいいんと序文だけつければいいんと序文だけつければいいんと序文だけつければいいんだまあ出來たらひとつ大いに宜傳して貰ひたい……に宜傳して貰ひたい……にない。漢口等で本葉、その後上海、漢口等でわが海軍の通譯として活躍、一時年來滿して司法部に入ったものである、その時「僕のたものである、その時「僕のたものである、その時「僕のたものである、その時「僕の 十日神戸出帆の上海丸で歸任 するが歸任後六月下旬若くは 七月初め第二回全支細領事會 酸を上海に招集し在支公使館 の大使館昇格を契機とする日 本の對支外交に對する帝國政 税き重要打合せを爲す豫定で ある

建岡以来の重賞を果し東五

鐵社

債發行

ため自重努

本部大臣の要職を を盡すのみである を立ては異して此 で表現した を立ての場合や で表現して がである である である である である である である である

日リ漁業條約交渉

聯全く

不誠意

日本現行條約修正意向通告

大要左の如き就

その資金調達の爲に前年度同一一發行兌換券 「二五二台) 日銀週報 「東京國通」

【東京國通】 「日午後九時半台灣總督府宮 (東京國通) 「日午後九時半台灣總督府宮 (真室より發火、四階を半塊し 「二コ三二谷」午後十時半鎭火した

四階を半焼し

台灣總督府失火

支總領事會議

東京國通」滿級本年度事業 電に依れば日ソ漁桑條約豫備 大田島吉氏より外務省への公 「東京國通」廿一日駐ソ大使

一老書生に還った。 今朝、三四日どうか静にさせては例の如く未明に起床、お 臭れ」と一切の訪客を斷つまのがした」といふ、今朝、三四日どうか静にさせて

當分は公館で靜養

前國務總理

った眼、あく

燦々ときらめいてゐる

臣鄭孝胥氏の歸館第一盤は

んは「せめてこ 老男生に歸つて

孫郎の掃蕩に闕東軍途に起つ 平津の地支那から切離さざる 中村少佐の遺骨酸見さる、

お酒は変



は内永重助

さし

投票總數八千六百九十二

空 演 習 本

的

大江美智子

好評

前賣券一Щ

るが既に周知の如く「母の戀 大の期待を以て迎へられてゐ 日見得の筈であり一般より多

着の百名に無料入場の便をかし尚「ノーシン」空函五十銭のもの持念者(購入者)には無料招待とし(二側もの)の方には四名入場觀賞特典を爲す管である

た搜査顕を届けて來た、署でと二十二日新京署宛涙で綴つと二十二日新京署宛涙で綴つ

は早速中井の居所を調べることになつたが中井は中井西水と髪名してゐるかも知れぬと

た月十一、二、三の三日間新 京を中心に近縣七縣に互つて 季行される國都防空演習に備 を整察署および防護團が中心 となつて警報強行演習を行ふ となって警報強行演習を行ふ はこの警報が防空本部に達するや直ちに燈火管制をなし敵機の空襲に備へるものであるがけぶの演習は附屬地に十二ケ所、特別市その他近郊に敷十ケ所の防護園員警察官より 八管制

十和

範圍を調査するものである 敷き鳴らしその警報の達す。 城子等のサイレンを連續し 城子等のサイレンを連續し

新京崇智路四〇

線匪

◆同 午後三時四十分二十七秒 (時差一分五十四秒) 公主樹大和町大人保商會 午後三時四十分二十一秒 (時差二分十三秒) 公主樹大和町大人保商會 午後三時四十分八秒 (時差二分十三秒) 新京朝日通八一高橋電氣 上宮政学、新京日本憲兵 山口 正幸 定に反するから無効とした 表表 (1) 一等第年第二名、四等シャープペタンド三名、四等シャープペタンド三名、四等シャープペタンド三名、四等シャープペランル四名五等浴衣地五名で非典規 に (1) 一名 (

◆同 午後三時四十三分十秒)時差四十九秒) ●同 午後三時四十三分十秒)時差四十九秒) 同道局新京事務所 同道局新京事務所 平後三時四十三分二十一秒(時差一分三十一秒) 新京清和胡同一〇一號4 新京清和胡同一〇一號4 新京清和胡同一〇一號4 新京清和胡同一〇一號4 新京清和胡同一〇一號4 新京清和胡同一〇一號4

自分は車艦長とし動務中に 自分は車艦長とし動務中に 多数の犠牲者軍軽傷者を 出したことを遺憾に思つて ぬます、申認ありません、 日滿軍官警の多大な活動に よりこうに六名の生逸者を 得たことは感謝に耐之ません、自分はこれからすぐ滿 機路に入院して養生さして頂きます

となり其後妻の数江さんは元 く糊口を渡いでゐたが分娩後 ・内地の親類の世話で入院し をの冒夫の中井に知らせると その冒夫の中井に知らせると その冒夫の中井に知らせると んもほろゝの手紙を寄越した

を身をの後何の音沙汰もなく 数江さんは病氣がやつとよく を手を切らねば面倒を見ることは出來ぬといつて寄りつか で四人の幼兒をかゝえて残飯 などを惠まれてその日を送つ

B

松平のり子の 廿四日公會堂で 獨唱のタ 0 春2

入 三本立ての上映でファンに御 二十六日日曜日兩日に當り先初 「血煙荒神山」蒲田ナンセン 映畵觀賞に當り名薬「ノーシの 現代劇「母の戀女」時代劇 榮子主演の傑作である、尚本の 現代劇「母の戀女」時代劇 榮子主演の傑作である、尚本 母の戀文。 今日から上映

二十一日夜から公會堂に開催 した松竹右太ブロの名花大江 美智子を中心とする八十余名 美智子を中心とする八十余名 大入の盛况 山内光、徳大寺伸、齋藤達雄中苗、突貫小僧、坪内良子、高杉吉川端子、小林十九二、高杉 等新進共演で、

母がらつかり

吉野食堂

i 鐵運動

會

新京島

岐阜縣人會

來る一

日

٤

家縣族人

丰

ド荒し

3

申申提 會場日新

高事人に付

切所品

丁目鍋谷醫院(電話第三國)

吉野館の跡

通りの血煙り出入りナンセン ・ 下加茂オールト・キー特作、 ・ 振東好太郎、坂東橋之助、仮 ・ 坂東子、光川京子主演清水夫 ・ 「大川京子主演清水夫 問題となる抱腹絶倒の正喜劇落した、昔しのラブレターが

吉野町一丁目の下宿屋吉野旅館の跡が今度大衆相手の吉野 食室となり廉價美味をモット に二寸一杯も出來ればまたぜ んざいまで出來る奉仕ぶりを

現不洋對砂票 1505003 現不洋對砂票 1505003

二十一日午前十時頃市内室町二丁目二番地日和商會內應浩氏方のウインドウに飾つてゐたバラソル二本(時價二十圓) 格利下四足(時價六圓)を何者かに窃取された旨薪京署に屆出あり署では直ちに犯人捜査中二十二日午前八時頃日高刑事の一行が室町二丁目に於て擧動不審の支那人を發見本署に連行取關べると本籍河北省生れ劉萬其(二七)で犯行の一切を自白した

会の程御待ち申し上ます 一日の清遊を恋にし 一日の清遊を恋にし 一日の清遊を恋にし 一日の清遊を恋にし 一日の清遊を恋にし 一日の清遊を恋にし

大會關東軍銃劍術

傷病兵南下

拉供衛戍病院の傷病兵中村伍 長以下十六名の白衣の勇士は 一十二日午前十一時三十二分 着列車で新京に到着した、一 行は二十二日午後へルピンか らついた三十八名の傷病兵と

も落ち鬚面で

岡末子

逝 金光教副會長 3

女

三笠町二丁目

金光教新京教會長藤岡築吉氏の夫人未子女史は大正七年當時の長春に金光教會の設けられた常時から夫君を扶けて布教に努め現在では副教會長の職に在つたが先頃から病臥療養中の處二十一日午前九時十五分陽幽、享年四十一才、葬祭は來る二十六日午後二時新祭は來る二十六日午後二時新

温

工學

院運動會



組强盗

新彩社 段藥當 教 信 教 會 過で二十六日午後二時於當型 信徒各位へ御急告申し 知無く廿一日午前九時 別無く廿一日午前九時 追て二十 信 金光 徒

曜

等 午後三時四十二分

本人各方面に相當師が嚴く且 調査の手を延ばし滿洲建國の信古が數十萬元の資産あり日 益々擴大され取調當局は八方熊事實が暴露されてゐる、傳 も贈賄あるものゝ如く波紋は

を糟懲するものゝ如くである大精神に立脚して徹底的隗類

四人を残して來京したが一度一か年半程前胡鮮兀山に妻子

在京實戰參加者の

毎日敵艦來るの報を待つてみだ、けふは來るだらう!~と

やうなわけでした

露海戦

の追

億五

報知があつたので急遽出動性 目でしたか「敵艦來る」といふ こといい。

その頃石炭の積む量は大變な の石炭をつめ込めだものです の石炭をつめ込めだものです

を を を を を を を を を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る る る 。 る る 。 る る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。

合はせることは出來ないだら

緒に飯を食ふの

夜はもう顔を

ず探險してやらうと上陸しててゐるなんで聞かされてみた

帝門

ない、その夜はこの軍港町にどもそれらしい奴が見つからともそれらしい奴が見つから

でした、これ程に積んだ石

名だつた日清得の

ヤ負けたを高唱して夜を徹し 大酒宴、ニッポン勝つたロシ

洗濯、日本

首途に鋭氣を養育へ、當時春日の

年 これは戦闘を終つて吳の軍港 で 港沖を航行中突然ゴゴと…異 で 港沖を航行中突然ゴゴと…異 たなッ!と直電

と思ひながら壁に勝りましたが、後で聞いてみた淫愛婦の群だなと思ひながら壁に勝りましたが、後で聞いてみるとーなりんだ、これは扇目來の地震のため屋内に整るのを怖れてのため屋内に整るのを怖れてした。

大金を拾

臺北

州物產展

示試

賣

會

テ

" P

虫皮製力

主催

臺

其鰹が竹水紅茶ウール カエ、角ー

祝町

至

五月二

干五

日

三日

臺藤珊港

会製

自

五

月二十三日

ふのる

▲貳等 午後三時四十二分 十二秒(時差九秒) 新京三笠町三丁目十一 級田益太郎方 松田益太郎方 松田益太郎方 一个後三時四十二分 藤町 一个後三時四十二分 藤町 一个後三時四十二分

▲壹等 午後三時四十二分 左の諸氏が入賞した

燕春茶園事件後報

隗事實續々暴露

ふ地鎮祭を行ふ

「東京図通」角力ファンから 大しく横綱を期待された武蔵 山は木夏場所張敵男女川に無 念の敗を取り、更に千秋樂の 玉錦との一職に惜敗して遼に 九勝二敗の成績となり横綱間 が、廿一日午前協會事務所に

不開かれた新番附編成會議の ・ 過去及び今場所の成績同人の ・ 過去及び今場所の成績同人の ・ の資格あるものと認め滿場一 ・ 致を以て武蔵山を横綱に推薦 ・ 直ちにその手續きをとる事に ・ 決定した、尙武蔵山は年齢廿 ・ 七歳、六尺二寸、卅一貫であ

横綱に昇進

於て取締役並に全役員出席し

年々約百名程度委託されるこ から附屬地の満人就學離も多 から附属地の満人就學離も多

憲兵隊の峻烈なる取調べて

波紋益々擴大せん

で直ちに新京特別市公署で計畫 中だつた民政部前空地に新築 中だつた民政部前空地に新築 中だつた民政部前空地に新築 十二日午前十時から市公署、 地方事務所關係者ら参列の下 に地鎭祭を執行、錢高組の手 ので直ちに着工することになつ で直ちに着工することになっ で

四人の子を抱え

路頭上迷ふ母

=

艦して舞鶴を出酸、遅ればせになつて一等巡洋艦日清に乗

いものがあるだ

氏

(上)

本がらも日本海の海戦に参加 三十八年二月十一日紀元節は することが出来ました、私は の佳節に當つて佐世保の軍港 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶も詳しい 航の途にあるバルテック酸験 はましたけれども記憶を描していません。

知常の顔を中総でぶち切つて大 も/、敬鑑らしいものは見え も/、敬鑑らしいものは見え

たうとう燃料の石炭が欠乏したうとう燃料の石炭が欠乏したので、この度を我が聯合を たので、この度を我が聯合を

所だから見

市内富士町三丁目四番地朝鮮館方金長海氏は十九日午後六時頃富士町三丁目の道路上で時頃富士町三丁目の道路上で時頃富士町三丁目の道路上で時頃富士町三丁目の道路上では赤連新京開仕復います。

百 四

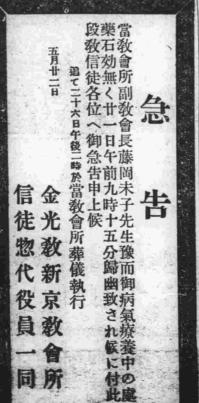
7 19

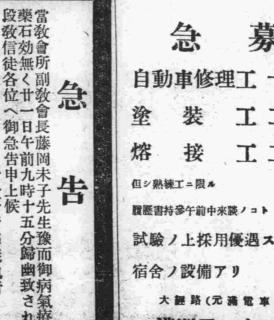
銀飯にきれいなシ

ヤッを着る

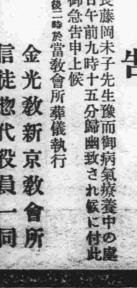
清乘艦の

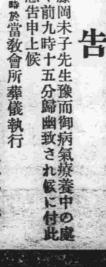
急 午後二時於當教會所葬儀執行 惣教 役京 員教

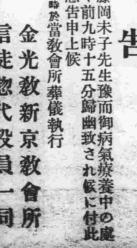


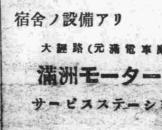










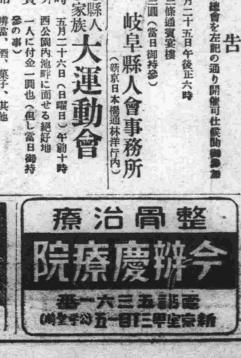


急



か 佐賀縣 ・ 古宮崎 ・ 古宮崎 ・ 古宮崎 ・ 古宮崎 ・ 古宮崎 ・ 古宮崎 ・ 本 ・ 古田 古田に開催)





やテレるでする

してツてこともな

餃子 だつたら仲がよさょうな

同 名被松廠 馬土垣畑清吉 野土垣畑清吉

●一白の人 妄響を戒め努力

私達、勞働者なんでするの

ちゃないのかっ

脇板あんたの人気に

ははは、こいつはい」や

ありがと…

瀬子 ほんとこうとうかと思ふせ

五、二五 無象通報、番組後吉 大、〇〇 ニュース (東京) 六、二〇 政府公報 (減語) 六、二〇 政府公報 (減語) 六、二〇 謝座 『殿満洲帝國之 財政部理財司事務官 財政部理財司事務官 屋 正 儒 世 正 儒 世 正 儒 世 正 儒 世 正 儒 世 正 儒

▲梅田嘉三郎氏〈熈光胡同同 七百一號〉女英子さん五日 出生

生

代

理 店

九支

0

百合子に 煩いのね、一々……

を残して、他の女優し

あの時は何だったもんだから

CIII田の方をちらと見て」今夜

思ふわ

君は敵か味だかっ

永田八浦關英太朗**高**

八,00

(大阪)

サブ人の誘ひに乗るなかれ 重気である。

古の方を向いて)お歸んなさい。 際域 (頭を引・・・・・ (屋) ナス行進曲(こ ○あの節は色々……(慶 百合さん、おなつ らさうと、はつきりいへばい」の 南子 失職しちゃらわっそんな

何とも思つてないわ。矢張りおなもうこれでいるの――彼さん。私 かだわね。まつたく… ヴューなんてものは、およい 陵子 あら、三田さんは樂屋を

百合江 ほほは、御乳なさい、

居住消息

亭京三笠町三子

百合化 さア……

居

丁目四號へ

かげぼう

一年男女兒童九名

皆様の TRADE 家庭用 務力 殺蟲 海 專賣物語

本 元 追 報 和含各合選製紙以H八西閩

おぼる月夜に しに嬉き 亦

餘雅集票友

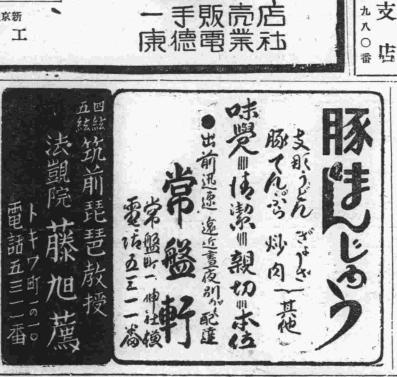
日上の助けありて大競展す 應接に暇なき變化のある日 いら芽を吹き出す日なり口の人 平凡無償の内に

京會所



望の方は 至急譲渡し度 話六四 塲 依

書ニ七三二章七二ノ二町脱京新 九ノ一町鳥千 場 工

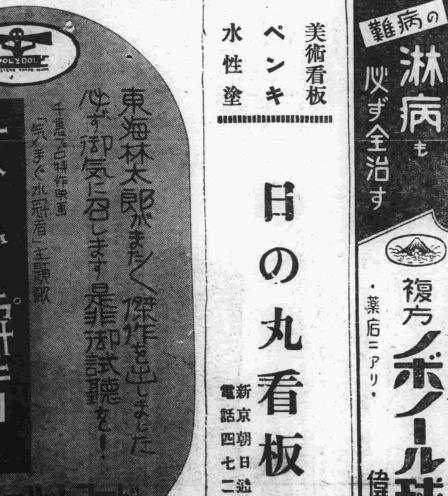


電話 2318-3818-5559 百部屋ノ中五十部屋ニハ各へ風呂洗面所が附イティ 都屋代へ一日=付キ國幣1-50ョリ御在イマス カフェー レストラン

ランチ(二皿 65銭) デイナ(一皿 50銭) 其他飲物等ハ 價格 低廠 宴會ハー人前 國幣3,50ョリ出來 マスサロン 及ビジャズ パンドハ 毎夕七時 カラ始 ママス

ザクスカ (三種25銭) 物(40錢) 御輕食ハ價格低康 心付ケ ハ御節退シマ

ホテル専屬娯樂場 トーキーシネマ アメリカンバー 撞 球 場 紳士淑女へノ理髪所 ホテル事務員へ露語.英語.日語.滅洲語ヲ解シマス















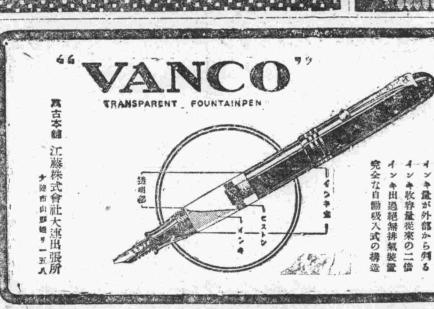
電話四九三七番 (街ヤイダ) 目丁一町樂氷京新

典度

電話本店三人四三番

於內鮮滿各地田品共同主經第二回全鮮菓子 等入賞名譽金牌受領

母語師



塗水 滿



機械吹付故你 用 1 學 究所製品 小賣



海軍記念日配貨會廣告 本五月二十七日 正午御一名金五十銭也御一名金五十銭也御一名金五十銭也の一三)へ會致ヲ添、御申込ノ時マデニ補鍼地方事務所庶務が東京記念公會室の一五月二十七日 正午 民軍 一十五日午後四一十五日午後四 合同

を賜りますよう伏して御懇願大小の御宴會、御結婚 御披露大小の御宴會、御結婚 御披露大小の御宴會、御結婚 御披露なく装飾も殊に念を入れて足りして、として、として、として、という。 伏して御懇願 すから是非一度御試食御家族連の部屋も心地 皆様のお氣に召す理想が愈々開業いたしまし

支那料理

する迄一時孫郎を解散せ

頁二十共刊朝夕

競特所

井上洋服店

召服

11

満洲里會商

州國側委員

員一行(右四人目より神吉委員景(上)と二十二日勢揃ひした滿

鳥司令官

熱河警備部隊 堂々遵化 採永勤匪を撃

を興へ再集合を誓約せしめて長は直ちに孫順に對し各廿元 關東軍を糊塗する計畫

孫匪膺懲に を事は、動かせない事質とな 単忠氏の指令によるものであ つた事は、

並に該題を庇護せる支那官憲 「北平廿二日發國通」熱河省 支那側の回答 訓令せり 逃ぐるを追ふて三屯管へ

嚴重取締り 時熱河丸にて瞬國する 痛のメッセーザを貸した 作氏は関通を通じ左の如

再集合を誓約させ

は大連國油 土 銀 を以て設 事務所は慶止され同所に於て 取扱はれてるた一切の事務は のルピン鐵路總局に引継がれ でしまり が の事務は の不信行為に對し北平軍事分會自長何應飲代理鮑文越は左の何をを寄せた 語では、 の疑惑を招く行為は 関係各方面に對し 関係各方面に對し 関係を招く行為は 関係を通じ でいる。 でい。 でいる。 事務所廢止 ハルピン満鐵 事務は鐡路局

(大連関連) 二十二日午前十二日午前十 遠藤前廳長

を見現である。 は、本のので、主のでは、 は、は、ないので、は、では、 は、は、ないので、は、では、 は、は、ないので、は、では、 は、は、ないので、は、では、 は、は、ないので、は、では、 は、は、ないので、は、では、 は、ないので、は、では、 は、ないので、は、では、 は、ないので、は、 は、ないので、は、 は、ないので、は、 は、ないので、 は

内閣更迭を機に

大橋次長辭表提出

後任は守屋参事官説有力

参事官森島守人の三氏が擧げ 同氏が有力の標である 称省電信課長米澤菊二、前ハ 満州國の事情、治外法權向題 満大使館参事官守屋和男、外, られてゐるが、守屋参事官は

兩洲國北鮮稅關の

細目協定調印

孫財政部大臣京城へ

▲佐藤三郎氏〈韓軍大佐〉二十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京十二日午後來京

辯護士師

大七 等位

引地寅治郎

山氏〈軍政部大臣〉阿

人事往來

内原更迭の跡を語る

吉興上將に

昭和十年

■ 長岡總務艦長より事務の戦明 記は廿二日午前十一時登職し 日の県新國務總理大 張新總理

れた 第二軍管區司令官吉興上將は を聽取したが午後二時に至り 第二軍管區司令官吉興上將は を聽取したが午後二時に至り 訓示を述べこれに對し長岡縣 集し就任の挨拶と共に一場の

車機重發洗石揮軸械 敬

油油油油油的

女教部大臣の職をけがす事 文教部大臣の職をけがす事

のものであらう▼これより先き附屬池、城内ともに既にそ き附屬池、城内ともに既にそ 行はれるが、これはたゞ量に 防空旗臂のための一時的のも のではない▼永久的の防空陣 として防護圏の存在は誠に 中心に行はれる方

> 場所 日時

西公園夕陽ヶ丘

各自持参為茶の

次回日曜日とす

各種競技福引其他

席下さるよう御奬め致ます

五月廿六日(日)午前十時より

の通り家族闡遊會を催します御家族其他御誘ひ合せ御出新綠薫る一日の行樂を共にし平素の親睦を暖め度く左記一二一重 縣 人 家族 園 遊 會

日新民政部大臣は午前中事務「自職を訪問新任挨拶をなす所」 新任挨拶 、阮新大臣の

呂民政部大臣

金物金物

掛賣を廢して「現金制度」最低

値段にて皆様へ 新京三笠町

西脇洋行 電話二二四〇番

新京興安大路 新盛洋行 0

多年好評ラ博セル 本式子曰是本書 坂本商店



衡中であり候補者としては駐 権の意見を斟酌して後任を詮 米の銀貨禁輸令に 世界銀相場動搖 零時半軍司令都司令官量に於一國內閣更迭につき左の如く談南關東軍司令官は十二日午後 て記者團と會見、今回の援州 南軍司令官

廿一日一齊に崩落を始む

もので

間と難も識別し得ない もあるかどうかは銀塊 のによって得られた

度と前日に比し更に一仙方の ける公表相場も亦七十五仙丁

数に左の如き解

心らく不可能

性を未然に防止せんとする触入される事に因つて居る 触入される事に因つて居る

め得まい

一新大臣の のすべてを完 のすべてを完 のすべてを完 のすべてを完 のすべてを完 のするの後任 理論中の人とし 理論中の人とし の意を襲して一意之が説得に努め の意を洩した模様である、金 神長の後任については前國務 でもなく漢中は、 遊園氏に廻り、 は調が の意を決したで表初よ で表の後任については前國務 であるつて最初よ であるって最初よ

職項の筈である ・ にて新京設京城に赴き廿七日 備の終了を俟つて敵々七月上にて新京設京城に赴き廿七日 備の終了を俟つて敵々七月上にて新京設京城に赴き廿七日 備の終了を俟つて敵々七月上にて新京設京城に赴き廿七日 備の終了を戻って敵々七月上 本大谷光瑞氏(前西本顧寺法主)同來京ヤマトホテル投 行員之二十二日午前發內地桑原英治氏(滿洲國中央銀 館員)同中央ホテル投宿井英一氏(在上海日本大

場常太郎氏〈新京會社員〉

協定の成立によって開國の

廿七

日は海軍デ

初瀬乗組の想出

ければならぬ。

社

說

勇士の英靈を慰む

基萊町を経て駐満海運司令部 前で解散の豫定で當日は各面 前で解散の豫定で當日は各面 機とう數萬枚を撒布、また二 十六、七、八の三日間公會堂 で記念展覽會の催しがあり、 をは講演と映畵の夕を開催し 空に陰に終日廃んな海軍デー 講演と映畵

高日常日の講演と映画の夕は 二十七日午後六時から記念公 高日常日の講演と映画の夕は

六月中旬成立の日

移し同中旬全弾算の成立を見る筈である

新財政部大臣孫其昌氏は廿 新舊大臣挨拶 事ら居住民保護の任に基した 東京居住民保護の任に基した 東京居住民保護の任に基した 東京居住民保護の任に基した 東京居住民保護の任に基した 東京居住民保護の任に基した。

東京京橋両銀座六丁目に本店 を大連々鎖貨に支店、睾夫、 や爾濱に出張所を有し手頭い 貿易を營む件野商店は五月一 日本支店を合併し株式組織に 地更件野貿易株式会社と改得 た 株式組織となる

立つて就任の訓辭並に轉任の議室に召集し、新書大臣交々

廿七日夜來京

洲國税闘北鮮進出を祝して(右南大使、左張外相)

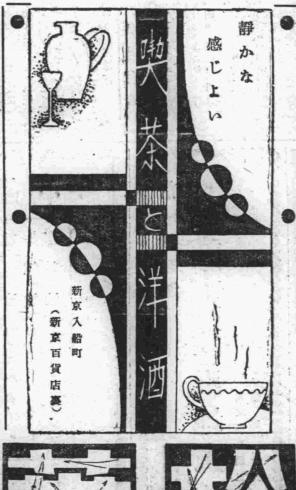
水 四四 五〇〇〇

其ノ地材料 各種 はまり 旅は違った、

S 連れ(船、汽車、酒の) **豐樂路一一八**(西三馬路側) 電話五七九六番

吉 野 町 話三八







存三、救護・一、

火三、防毒四、大月五日)一、大月七日)一、大月七日)一、 一六月三日) 一六月三日) 一 (五月世日後場)

★を持ちている。 銀市况

現物大連金砂点

1元、益

1日本、日ン

神日

カイラ スンマン (2) 迅レンス ライカ用品



艦隊行進や大旗行列など

な記念祭典

楠公六百年祭 白菊校の催

精選の名畵である 、海の生命線八名 発電の認識を拠める等である に補公に関する見童の作品を に補公に関する見童の作品を を陳列し訓導より調話をなし 仙台藩祖公の

海軍記念日の官民合同戒質會 他の豫定のところ正中からに を 関更された 配賀會時間變更 前腹場で選弄式典を執行、同業政宗逝いて三百年祭に相當 学をので同縣人會主催の下に 達取宗逝いて三百年祭に相當 二百年祭

海軍記念日 白菊校の行事

康德二年度豫算

新規要求に大斧鉞か

出來高

杜鍵佐渡丸の勇士を偲ぶ 書、書方、綴方等今から準備

大楠公祭ご

ラック七台を軍艦に仕立て9先き午前人時三十分から9先き午前人時三十分から

体のため後め座席を用意す

新京で講演

新京基督教育年會主催の下に 五十名の 来る二十三日午後七時半から は往復大 記念公會堂で吉田悦誠氏の講 三十銭、 消會を開催する、吉田民は近 動會や電 行兄弟社理事で、湖國青年の り新線の をして實際界精神界に維飛す をして實際界精神界に維飛す る人・兄弟社の事業を一貫す る人・兄弟社の事業を一貫す る人・兄弟社の事業を一貫す る人・兄弟社の事業を一貫す る人・兄弟社の事業を一貫す る人・兄弟社の事業を一貫す るたの大暗卒直な指導精神。

全新古

AL海為替

●本天蔵幣對金票 ●本天蔵幣對金票 本月廿八日配 本月廿八日配 本20、00 か3回、至0 爲替相場,

1.00440

新京取引所市况 (五月三日後編) 東 (混合百斤値段) 東 (混合百斤値段)

配 遠

9

ズ

迅速

六月十二日限

1212

「岡門支局設」間島新報園門 を表するや在岡各機闘、関体、 表するや在岡各機闘、関体、 表するや在岡各機闘、関体、 表するや在岡各機闘、関体、 大商店は撃つて之れに参加す べく必勝チームをつくり各参

市民にも案内狀招待券を配布事製なれる岡門遺場に於て電新製なれる岡門劇場に於て電新製なれる岡門劇場に於て電新製なれる岡門の場に於て電

死刑囚等

信外五名の頂大犯人は監房を 章程により取締られてゐる理 割せんと鋭意努力中である、 あるが五月末日までには、意の監獄に入監中のが刑囚韓明 衛生科では荷政権時代の取締 て理髪營業取締に一新紀元が 縣に依牒し意見を取纏め中で「古林國通」廿一日午前時零 「ハルビン友局發」殯江公署 髪營業を今般全面的に改正し 旣に取締の腹案を作成して各「古林國通」廿一日午前時零

新彊省の現狀は

の団民獨立國家を成立せしめ一件英を首回として甘、新國省反抗に遭つた、甘粛の叛將馬

第二の外蒙古である

緩漫極る南京政府の對策

電話五四二六

期日通日本 タイピスト 通波 新日通五五 電話六九五八番 朝日通五五 電話六九五八番 東京 大商店向 大崎市向 大崎市向 大崎市向 大崎市向 東村迄

澤渡民

四男

◇◇◇ 十五被三 行一行 — 四 | 一回 | 四

五里霧中にあり検察

延吉料理店移轉問

來年春まで持越

赤司署長の轉出から

熱火線上の對立緩和さる

國境

である、右岸には申譯的に設 境監視殿の歩哨々舎がぼつり である、右岸には申譯的に設

果してこの現象は何を物語るであらうか、設却のための收容か、 きか、 退却のための收容か、 であらうか、 設却のための收容か、 であらうか、 設却のための收容か、 であらうか、 設却のための收容か、 で、アムールを中心に横はる と、アムールを中心に横はる と、アムールを中心に横はる と、アムールを中心に横はる とい、アムールを中心に横はる とい、アムールを中心に横はる とい、アムールを中心に横はる というない というないい というない このはない というない と 國籍を包む雰囲気は「より後 時」か「曇り後雨」か、それ 等に頗る無頓着なアムールに 等に頗る無頓着なアムールに 中一時、解氷をはじめ満ツ兩 十一時、解氷をはじめ満ツ兩

見の戦告があることになって

ソ聯政権を脱して

B 星 し 且 つ 尚 二 十 パ ・

買買、周旋紹介、公認

土地、家屋、賃貸借

新京土地建物會社

ま業町一丁目Cダイヤ梅ン 水業町一丁目Cダイヤ梅ン

公丞要話占

ウクライナ獨立 今秋までに完成の 現群を脱せんなする、當地に達動の具体を脱せんな、當地に活動の具体を発生を占領でした。 を表する、當地に達動の具体を発生を占領ででには、 を表するには、 を表する。 意氣込み ないとしてゐる ないとしてゐる ないとしてゐる 驅逐艦蔦

・氏を擁してカクラ ・氏を擁した情報によれ ・大体化を制策してる ・「でる」に連した情報によれ ・「でる」に述りた。 ・「でる。 ・「でる。 ・「である。 ・「でる。 ・ H関で盛大な市民歓迎會を開 しては廿六七の兩日に亘り朝 「 電場終江鐵橋下流に入港、 世 監島は來る二十五日午後三時 に で東國通」旅順要港部縣深 俊六時から類組将校の歓迎命 廿五日入港

電話で金融●電話 中華 話 高 價 買● 小其儘低利多額貨 ●不 用 電 話 高 價 買● 中華 記 語 高 價 買●

あ

んまは

撃を與へてゐるものと觀られ の新蔵力として海軍國間に領 の新蔵力として海軍國間に領 浬に達すると云ふこの怪速艇 **楽組員十名、行動半徑は二千** 八年文 創業二十餘年元 八東京日日新聞助薩事藥屬評 八東京日日新聞助薩事藥屬評

光遜氏來滿 諸官廳各學校単用業 市ネタ類麵製工場 電話五八六六番

鋏灸あんま

男女技術員男女技術員

高橋療院

皇帝獻上の二刀

ハルビンデ館泊ノ節へ心カロ 寛ゲル靜カナ親切ナ旅館デ 純日本式旅館 旅館

哈爾賓埠頭區二堂街二四

電話三六八八番

電話二七三六番 哈爾賓銀座通キタイスカヤ街の中心

• 業務

電話五三〇一 六二一六番 洋室和室設備完全

三省堂製本所 製本専門

關東軍御指定旅館 ナショナルホテル

商業中心地 交通至便 样式客室六十餘 室內電話設備 溫水暖房 和洋兩食

哈 爾賓旅館際

三笠町一丁目廿二 共、祭社三笠町一丁目廿二 東級

一取扱

據品で關係者に還附すべた骨金属に所に機定
返到

たもので関係到

因心の一年金金に一九三番地奈東北三五號ボシシ府舎金金に一九三番地奈東北三五號ボシシ府舎

堅牢 優美 初京大和通り六五番地 確實なる修 森自轉車 オートバイ 號 良い車を安く費る 販賣並代理 1 店

「延吉愛」爾來相當やかましい粉糾化の渦中にあつた延吉 料理店移轉問嗣も最近に至り 「時先づ無期延期の形となつ」 た情勢である赤司警察」 の状態に保留さるゝものならるが如き専斷の方針には出づるが如き専斷の方針には出る 準備を急ぎ各チームの主整会 になつて居るが更らに本大会 と最も感大に最も意義あらし かべく一般ファンに呼かけ営 日の優勝チーム強想懸賞募集

本は左の通りである。 本は左の通りである。 (無援商店名) (無援商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無樣商店A) (無養商店A) 田和日喜 濱江公署衛生科で

破り逃亡した事件が勃設した ・ 会報に接し日滿警務機關 ・ 会報に接し日滿警務機關 ・ 会報に接し日滿警務機關 ・ 会報に接し日滿警務機關 ・ 会報に安眠の夢を破られ不安 ・ の一夜を明かしたが警察官の ・ の一夜を明かしたが警察官の ・ の一夜を明かしたが警察官の を帶びて居る間們站の取扱主 と共に益々その將來の發展性 と共に益々その將來の發展性 と共に益々その將來の發展性

要貨物を見るに左の如し 酒煙木穀同計そ麥局魚麥酒砂果綿 上 到 の 用貝 **物織** 類草材類貨 他 粉品類酒 **類糖類物**

展の過程を辿りつよあるか又 展の過程を辿りつよあるか又 展の過程を来して喧々騒の風に動揺と 流戦を来して喧々騒々として 落着き得なかつた 間側も今や 新貨量なる落着き見る様に なり又日鮮繭貿易の最捷路として、 豪業的重要性を認識さ

巧妙を極めた

法院**沿難事** 檢察當局犯人嚴重取調中 かつたもので、同人 年春より檢學まで

理髮營業法改正

五月末までに基本案を作成

衛生思想喚起に努む

れる、一方この事件額は廿萬圓を突破す

記により俳句會を健すことに 供樂部階上日本間において左 は二十二日午後七時より議録 にの平衡が)四平衡石楠會で

京染と光張等泉通でしきや京染店のものでは、

0廣 告 0 哈爾賓新市街義州街四三 電話六二一〇番 御 命 は

科目 隨意 入院 新京水」町三丁目 花外內柳 都 產婦人科 科 兒 六









△左岸と右岸

根にボートをアムールの中間

根にボートをアムールの中間

水路関缆線に浮べて左右を見

較べたとする、左岸の要塞、
を対大黒河には一体何がある
まるで素つ裸だ、タンクと裸
体の比だ、サロン・黒河、ミ
体の比だ、サロン・黒河、ミ
がられた監視所の展望口の連
水路関缆線に浮べて左右を見
につり二、三ケ所に在るのみ
を対して全
がられた監視所の展望口の連
がられた監視所の展望口の連
がられた監視所の展望口の連
がられた監視所の展望口の連
がらは物すごい機銃音の應酬
市民にアムールの水くみを許
されるシコードに對して左岸
カに物語つてゐる、ブラゴエ
黒のちは物すごい機銃音の應酬
・ はいるシコードに對して左岸
カに物語つてゐる、ブラゴエ
黒のちは物すごい機銃音の應酬
・ はいるシコードに對して左岸
カに物語つてゐる、ブラゴエ
黒のちは物すごい機銃音の應酬
・ はいるシコードに對して左岸
カに物語つてゐる、ブラゴエ
黒のちは物すごい機銃音の應酬
・ はいるシコードに對して左岸
カに物語のであるかを有
をいるショードに對して左岸
カに物語のである。

本の比が、サロン・黒河、ミ
はいるショードに対して左岸
カに物語のである。

本の比が、サロン・黒河、ミ
はいるショードに対して左岸
カに物語のである。

本の比が、サロン・黒河、ミ
はいるショードに対して左岸
カに物語のである。

本の比が、サロン・黒河の・ボールの水くみを許
ないるショードに対して左岸
カに物語のである。
本のは、対域・大に対して表には中澤的に設
ないるショードに対して表には中澤的に設
ないる・エールの水くみを許
ないるショードに対して表には中澤的に設

れて國家の何等かの補助

實審理

に入る||

新興俱樂部事件

むれば各被告一様に「大体に をこれであるが、 がて起訴事實通りであるが、 がて起訴事實通りであるが、

新京梅ケ枝町三丁目電五七三 附子 関チ膜懸書携帯本人来談あれ 有無を

特別廣告

南稱州鐵道株式會社

滿洲採金株式會社

指

電 話 六〇一〇番

定

灸鍼

た動機より賭博の内容及び被 が行はれ六時閉廷した 午後の公判

七日午後大連發二十八、九雨山大連着廿七日まで滯在ニュ 十一日撫順を経て陸路歸京の日新京滯在三十日奉天滯在三

で推り、て (大連関連)刀劍界の權威本 (大連関連)刀劍界の權威本 (大連関連)刀劍界の權威本 (大連関連)刀劍界の權威本 (大連関連)の日本刀を貸 (大連関連)の日本刀を貸 鑑定家柴尾與一郎、永井養、豫定で先發験として同氏高弟 である、尚木阿彌氏は福岡市本田高義三氏来滿目下滯逋中

新京三笠町一ノ十四赤玉カフェー西横八

高價買入

電四七七四番

はいれる 一部 松花等ル

電五六四三香

テ

南崗諸官廳街の中心地 純 日 本 式 旅 館 設備完全 交通至便

海水

各種 計算 器 羅本人 各種 計算 器 羅本人 會種 數 圖 器 京大

理安全に 廉價!

電話三三〇〇番への 電話四六〇

コノ野良大ノ!!!
アツタへ行ケ!!
シツシソ!

は、大体に赤い遺物の して落ちる陽の色とお化粧、 して落ちる陽の色とお化粧、 して落ちる陽の色との關係も初 或ひはお顔の色との關係も初 があります、先づ着物から云

益々黒く見えます、次に

司

壽

ハラ

其だノクワヘティル人
サグラ 取ット
テモラヒタ
インダー

ると、外調から東門家が来たにひき續き第二期平安朝を目しても、常時これをいやしい

オイコラ!!! ヨセ

上に書いた。 無づんで見え、緑の光線も同様であります、クリーム色なら大抵の着物にたり汚い色になつたりする心にはありません、それから白になったりする心にはありません、それから白になが、大体着物と同じなりがい色になったりする心になが、大体着物と同じなが、大体着物と同じなが、大体着物と同じなが、大体着物と同じなが、大体着物と同じなが、大体着物と同じなどんなペラリル

ルの質にそれ程お肌ののままに見えますから

出

前 迅

速

0

御用

れは一番無難な色で

おすすめ出來ませ

JE!

音

け常

0

要素

三月迄に三萬四千四百九十七 名を算する満州託見所は大連 に小林太三郎氏の經營すると に小林太三郎氏の經營すると 開催しその純益を得てこれを 開催しその純益を得てこれを 開催しその純益を得てこれを まれ新京にも支部設立を計畫 を準備を進めついありその か、必要に迫 が、必要に迫 が、必要に追

家庭ご音樂

と しめることが肝要でありますと 又は火熱に當てゝ能く乾燥せ 一 一 報は清潔に洗ひ日半

あれば大小便が容易に衣服や

乳兒の

取扱方

後

ケ年間の

家

タ等で対する ・ では、 理想的の育兒法 愛見の為にお勸めする

二ケ月目の取扱方

入れ、之を二枚重ねて腰の下し輪の間に亜麻仁油紙を一枚 長さを四尺にし、其れを輪に し輪の間に亜麻仁油紙を一枚 をつけねばなりません をつければなりません をつければなりません お襁褓に就て

を股換みとします。斯らしてに敷いた 裸を縦に載せ、之に敷いた 裸を縦に載せ、之 から横に敷き、其の又下に一入れ、之を二枚重ねて腰の下 これをいやしむやうになり、 は小郎校の正科目となったの

持の上に、音樂をたのしむの樂はひま人のなすもの、とい樂はひま人のなすもの、とい 年の學制頒布を機として音樂後いた、第四期には、明治五 つづき武人に時間的に、又氣 特に北條氏の時代は、戰爭相

生活難



ター、シャーチンガー 帝好者にとつて喜ばれるもの 総の一夜(コロムピア映画) としての興味を幾分決殺するで一篇である、只、ストオリイの、音樂映畵としては甚だ地味な の素晴しき全貌を知る ある、監督はヴイクリピン」など音樂愛 上映中(寫眞

◆新映畵紹介◆

吉歌三

駒

羽

五人

葉

木

會 遊 野

託兒所基金募集 慈善演藝大會 日公會堂で開催

三丸 (名英福) 岡安祉中歌喜代館 等曲、千鳥の曲・和山流方友 事曲、千鳥の曲・和山流方友 中島等部尺八再宅柊山師新宇伍 大方鈴氏大太常遠氏新田木隆 大方鈴氏大太常遠氏新田木隆 中島等千師後藤かおろ鑢松本 美代子夫人二號榮千鎮 華本手 中島等千師後藤かおろ鑢松本 美代子夫人二號榮千鎮 蘇松本 美代子夫人二號榮千鎮 新田木隆

れだ、そしてことに初めて音 用ひられるに至った、と同時 に音樂に「技巧一の必要を生

を加へて、醤油で吸味に加減して肉を入れ、うどんは、別して肉を入れ、うどんは、別して肉を入れ、うどんは、別

海際又洋服店等等1世界 春 行服ノ御用へ 技術優秀

人参はせんに切つてゆで、油場げもせん切にして穀湯をかけ油脱ぎしておき筍はゆでて人れて、煮出汁、醤油 砂糖生姜のせん切ります、これを鍋にして穀湯をから)を入れてからりと取り花(おけるせんのりと切り花(おけるせんのりとがら)を入れてからりと取りだった。 を少々煮立てて、椎耳、筍、玉葉は湯にもどしてせんに切り玉葱はずは湯にもどしてせんに切り玉葱はがったべにラード ~ 小の花五目煎り △肉うどん∥ 豚肉は

七七八六話電 (筋ルタビヤキ) 八十目丁二町士富京新

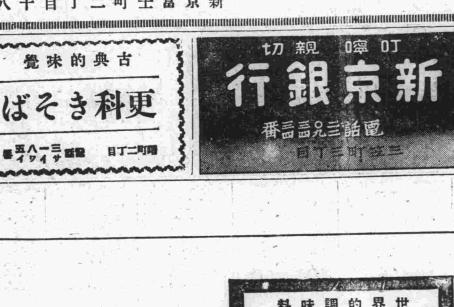
S XXX O XXX O XXX O XXX O X 一第京新司事ねつき であい徳 紀元宗新きのきつ東関

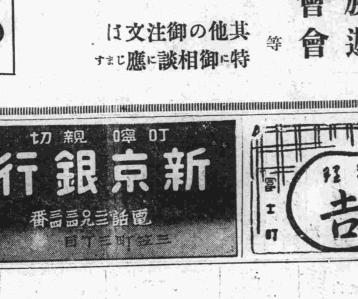


Ш 崎 **絹 裏 地 類 卸商 洋服、羅紗、毛皮** H, 街 ₹服商

御注文の







電影 二唑

白科桑曾

肛門病 内科心児科 京グイヤ街光松町

孫向は

事務所移轉 光像雜品之階 (新來百貨店廳) 群進士 黑田實法律事務所移轉 光像雜品之階 (新來百貨店廳) 精書類作成日滿鮮通譯 滿洲國商 愿登錄

が店へ 電話三四三五 大和通五二滿鐵醫院南西 熊本屋 席

10.00

は其の七部にある各階層及

大衆小說雜論

領光と大佛と-

100

057

2.00

1.50

2.00

祭団 午前中

15.50

150

-0.45° 0、三五

小爆彈 中爆彈

大爆强

示 一三 百六 千百 〇 瓩瓩 瓩瓩

此場合構築すべき避難所の 維所

THE PERSON NAMED IN

の厚さトリートリ

爆弾し得る

大四二一〇〇〇〇五五

を職の經營は企業として 全機期し得るが故に 全機期し得るが故に で又公營も容易であるが に又公營も容易であるが ことは姑く措く、満洲 ことは姑く措く、満洲

三、防空に於ける 選難所は爆弾、瓦斯彈、 震難所は爆弾、瓦斯彈、 高斯彈、 高州彈、 三、 震難所は爆弾、 瓦斯彈、 高州軍 と 音通土 「コンクラウス・アンクラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラウス・アングラングラングを対象を表している。

都市

空施設

4枚0.08×0.22

問題

第八



ないと私は信じてある、學校の講室と公會家の講室と公會家の講室とは著しく性質を異にする、此處では六つかしい精神講話も聴く、、但し普通の劇場とは又遠く、但し普通の劇場とは又遠く、但し普通の劇場とは又遠となる。大張り市民の集會場としての品位を保たねばならぬ、大の品位を保たねばならぬ、く自由に使ふべしである。い のは達した器である、公童堂 をしても人の集らぬこともある一面異行物には料金を排つ て喜んで人が來る、其處に人 心の機微がある、市民が公會 学を利用することに依つて何 等かの繭足を得ればそれで目 ▼使用する者は興行師でなく して其の興行を見る市民大衆 にある、市民が之を喜ばない 上興行は成立たない

公營娛樂機關

日三十二月五年十和昭

としいのに驚く、之は一面公 である、一旦劇場が構築され こからは之と競争し之を壓迫 「このからは之と競争し之を壓迫 「ことを構築するならば、期 である、一旦劇場が構築され である、一旦劇場が構築され である、一旦劇場が構築され である、一旦劇場が構築され である、一旦劇場が構築され

思念公會堂が豫期せずして市 民の娯樂機構としての役目を 多分に負擔するやうになつた のは寧ろ當然である、其の成 就洲各都市の公會堂の採るべ きを按示するものであられば ならね、不幸にして新寫では 最初から其の考へがなかつた 相富多額の整費を要するので 漸を逐ふてするの外はないが かに韓築されんとする處では がに韓築されんとする處では がには、不幸にして新寫では がには、不幸にして新寫では がには、不幸にして新寫では がには、不幸にして新寫では がには、一本の外はないが がには、一本の外はないが がには、一本の外はないが

物料の抗力表を参照して適宜 爆弾等に對しては前述爆弾と小 を関いては前述爆弾と の如き深度を取り得ざると構築するものとす、若し右設けるものにして抗道式に設けるものとす、若し右 中立 大工 周年を迎へたソヴェート映画の歴史において、一九三四年から三五年現在に九三四年から三五年現在に北に考しい變化が窺えるとに著しい變化が窺えるとに著しい變化が窺えるとに著しい變化が窺えるとに著しい變化が窺えるとは今日のソヴェート映画のである、しかである、しかである。

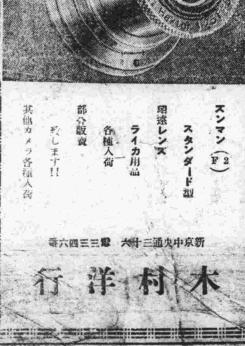
頼み甲斐ある婦人科醫

口四個を有する抗道式避難の一個は其の一例にして人 狀の形式を探 草の香ひがその影の上を傳はつてくる長い影が東から西へはる横はる下を行く人を見る下を行く人を見る下を行く人を見る ためいきは階段を落ちて來る「春はここに長い」詩人のやうに下の新柳をみつめる 居選

獨強スツットガルトの或る婦 のた闇で投獄されたが、常人 のた闇で投獄されたが、常人 既に遺書も出來てるといふ近

一三七省





水道。故障は!! 電話四八八六番

新京中央通四十二番地

市

迅

御一報次第速時參上仕候

新

I

吉

野

期

H

確

實

新京東二條通四三

東京府日本製造本町四丁製

0

服

飾

洋婦中ネ 人帽夕

傘帽子イ

4

電話四九六〇

是少

寶山洼

平型三分計 1 間 3 0 鎮 降状一分計 1 間 5 0 額 **國東沿 浅井合名金社**

施護衛用 を注めでする の第二字。

新 古

合服。御用意は 實用的中古斧服 各地流質品 弊店で 富 取 !!

三十日丁二町稅京新

来る。反之若し公會堂を純公 大目的の為にのみ使用せんと するならば到底獨立自營は六 つかしい、満洲に於ける公會 室の建設は同時に市民の娯樂 の形狀に依り大に善選ある ものにして其最も適當なる をのにして其最も適當なる

避難所の構築

(可認物 軍郵望三第)

記念公會堂と

である

五、避難所は内部に若干の仕 切りを設け同一爆弾の威力 を一區劃に制設する如く考 案するを要す

を使用せしものなり を使用せしものなり 第六闘は其の 50 建築物と切り離ち別個に 第四、五、六**岡**

生活の喜悅と明朗性へ〜

世界二 ユ

ス

EN31L」 目地敷石鋪裝

衣更へして機を**せ**しこと憶ふ

水が牙の城

第人黒き袴に弓さげて 同 第風吹くや傾き走る戎克の机 藤 子 わだち跡危く外れてねぢあや 佐 子

新京富士町六丁目二番地

ラ陸ツ運 物自動車十五輛揃へ 御用命をお待ちして居ます 送。 クの 御御 用は 用 12

提灯の消ゆるに消えて姉妹の同じ離なる衣更

丸仲運輸新京支店 電五八七四番 11 11



THO THE REAL PROPERTY.

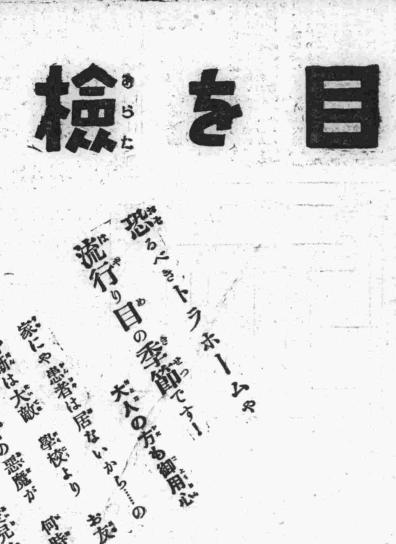
22 Miles to Billing the state of the state o

AND TO THE WARREN OF THE PARTY OF THE PARTY

H'S ANTI-

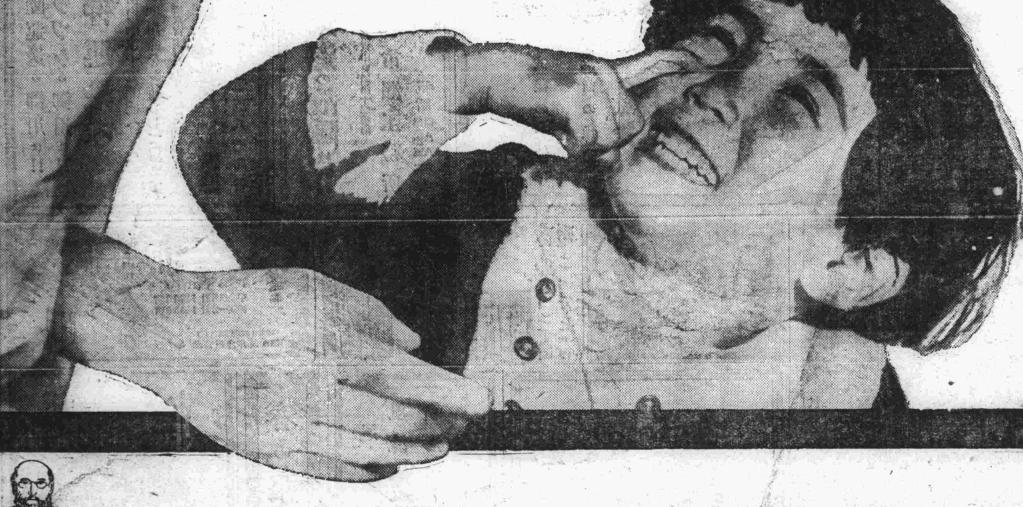
OFFICE CHECKER CA

The the ten of the ten



K. OF BUILD.

痛ます シマズ 心地よく



少しも痛まずしまの為に子供は喜んで使用し、

小見用目襲は大學が創始であり、研究數十年

朝島眼の習慣も樂々と出來るのであります

らひ(目ばちこ)なざにも罹り易い故、罹らのや 線の害を防ぐ三作用を有します、殊に子供の目に て強く、一種で眼病を癒し目を強く美しくし紫外 レギンの配合により、殺菌、防腐、收飲の效極め 心であります、大學目薬は専賣特許製剤ウルビオ うふだん大學で「毎朝點眼」を實行して居れば安 の、また この頃は流行り目、のばせ目、ものも に傳さぬやう心掛け、 國民病トラホームの撲滅を計らねばなりませ

子供の目は大人よりも 者患ムーホラトは%五十の童兒學小

数へて手や目を不潔にせのやうべもしも朝日脂で 衛生思想の相違によることで、從つて親は子にも 學兒童は質に約十五名もあります(統計年級) なざは百人中、専門大學が生の二、三人に對し小 に感す一方、タオル洗面器々物を限定し、他の者 目が塞り殿の裏に粒々が出來てゐたらトラホーム を知り、洗眼と點眼を日に三度、根氣よく十二分 痛み易く、 トラホーム さは

大板付(の)五十級

滿洲名—聯大學眼藥

二票)で、その結果は左の道へ票機數八百九票へうち無効が票機數八百九票へうち無効が原格との開票は

同

拾三

大然痘禍

猖

獗

昨日で罹病十二名

雄其

祝町三十月四

の作用命は

此際ぜひ種痘しませう。

圍碁手合せ

廿二日夕飛行機

田副總裁談==

同

未一鈴木原 大票 吉木 E 光 井票 之助 大票 之助

四日午後六時から社員倶樂等では三十銭

世経営するでする の終端施設 であり羅津両

警手詰所に

舊北鐵驛長室

夕風を廿日急派した

内務からの

新沢扉では本配の旅客輻輳で 標内が混雑するのを緩和する ため中ホーム邁北端南部線ソ ため中ホーム邁北端南部線ソ

任調査官には埼正縣印【東京関通】内務省か

局では未練痘者は必ず接種す

新京市場は

當分入船町

吉野町側昨日移轉

匪首王國良

身代金一萬圓

英國に開催の

支那美術展

二十七日より三十一日まで太から午後三時まで満鐵消防隊

吉辰夫

^{鍋東局保健所構} 來月上旬開

車隊長 (新京縣頭にて)

ら入船町に引越 吉野町市場は今か 譲工の確定で、一

南店の改築を行 来春は日本楹 が北月末には

二業組合

西本願寺

五十圓寄附

野遊會費用の中

慶讃法要

新京居留民會 許議員當選者

☆具体的の打合せを行つた ため説明の任に當る筈である

催さる

・ とのない大規模のもので展覧 とのない大規模のもので展覧 とのない大規模のもので展覧 と

皇軍慰問使の 早瀨龍山氏

加州モントケ法華堂主任早瀬 教 科 教 了 ニ にれより奥地一帶を腰助引返 した演習の概況は 一日來京二十二日本社に來訪 より三日間に亘つて要 にが今年一月モントケ出鈴 たが生徒は菅元氣頗る たが生徒に菅元氣頗る たが生徒は菅元氣頗る した演習の概況は 西業の野外 新京商業 の野外 新京商業 の野外教練は山内少佐森教師 とい二十日 一 の 製心な指導のもとに二十日 たが生徒は 皆元氣頗る 旺盛何 たが生徒 は 一 行動し 破期以上の 成功を 收め

投票總數八百九票

一十二日(火曜日) 大時半出校、孟家本附近に で道撃退却兩軍に分れ で道撃退却兩軍に分れ で一十二日(火曜日) 大時半出校、孟家本附近に で主報を鼓舞した で一十二日(火曜日) は四時 がした で一十二日(火曜日) で一十二日(火曜日) は四時 で一十二日(火曜日) は四時 で一十二日(火曜日) は四時 で一十二日(火曜日) に一大藤間 で一十二日(火曜日) は四時 で一十二日(火曜日) は四時

禁止され右 められず、 れた新京驛入

十分解散した 香体午後二時中退場し店友命側及び警官、旅館組合の出席 との條件づきで漸く解決し歴

幺房具 及附屬品

らず五味組合養仲に入って漸 の意見に懸隔あり容易に觀ま 一旅館に對して 本もに保負に指示して常に 大場することを得る、但し 大路で対して迷惑の行動を とつた際は同旅館から一枚 とつた際は同旅館から一枚 とつた際は同旅館から一枚 とつた際は同旅館から一枚 とつた際は同旅館から一枚 とった際は同旅館から一枚 とった際は同旅館から一枚 とった際は同旅館から一枚 鶴を夫婦に

騰寫版

3

ス島に於る プラタス島に

驅逐艦夕 風急行4g

平 疋 永 井 哲 夫 時 三 夫

· 廣吉辰夫 清水豐太郎

丸 山 中 信 造 体本長四郎 丸山中 押井弟熊

尾田中井松田 一田中村七之助 一田中村七之助 一田中村七之助 一田中村七之助

び余興へ手踊舞の水町西太願寺で

が開い、老人職) は宗祖親鸞法要及

市代がイヤ街三楽組合提業員は過穀西公園で催した野遊會は過穀西公園で催した野遊會では過穀西公園で催した野遊會では過穀西公園で催した野遊會では過穀西公園で催した野遊會では過穀西公園で催した野遊會では過穀西公園で

年頃から一羽の雌鸛

入場券問題を続る

万 **友**會 暗總會

双方の譲歩で

意見纏まる

が長閑かに檻の中で

を寄附し近頃に自己

な婦にし れ

な鹿野さん

す運びに至りに至りに至りに

なら

御會食、御宴會等特に御利用して出來得る限りの奉仕をさ

四日限り閉鎖し記念公會堂記念公會堂食堂を引受けま

大西多吉 、電三三つの街 山野喜三松 引 越 荷 物 海 州中央銀行食堂、満州周財政部食堂、経営者 陸運輸 日本橋通廣告塔東 永清寫眞館 并本運送店支店 理・お餠當等二百人標まで個別 各一丁目 電話五九五二番 ■ 新四人の 國番·五四〇人番 堂





日本は出品せずの開始出る要が、「東京國通」本年十一月から明年三月までロンドンで開かれる支那美術大展覧會に日本の出品を選手を表している。

房・乾宮饌屋、狭父銘仙屋、 時町表通りに面した所謂八軒 目假市場が出來上つたので吉 目明市場が出來上つたので吉 時町表通りに面した所謂八軒

市場で商賣を織け二十六日かの南側(吉野町に沿ふた部分)の魚屋は二十五日まで現在のの魚屋は二十五日まで現在のの魚屋は二十五日まで現在のの魚屋は二十五日まで現在の

挨拶に來社

対致した匪首王國良は一行の 頭緝私局員有馬、安井爾氏を 東國通】去る九日三道浪

滿洲紡績

日定期株主總曾を開催する

要求

學校だより

るが式次及行事は左

海軍記念日

三十年式

所遊が大連に於て行はれる豫 僧し廿四日寧北建治事務所の 僧し廿四日寧北建治事務所の 傷病兵三十五名

許強員選

学の開票(昨日午後一時居留民會

室町

桶公六百年

ではされるが式次及行事は左(二) 敬禮(二) 敬禮(二) 閉式の部(二) 論辞(四) 學校長訓師(一五年生五分間(ロ) を表表の。 (七) 武道大會(イ) 基本(七) 武道大會(イ) 基本(七) 武道大會(イ) 基本(十) 正面打(チ) 右嗣と(ト) 正面打(チ) 右嗣と(ト) 正面打(チ) 右嗣と(ト) 正面打(チ) 右嗣と(ト) 正面打(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) 正面(チ) 右嗣と(ト) にている。

學校

開催の件(七) 事業の件(四) し、政選の件(四) し、政選の件(四) は、正の件(五)

家族曾 あ 軍部念日の たが二十六日 協議事項は左の 簡場小學校に於 音は二十三日午 校父兄會評議員 震場 たなつた と変べる 多數多觀することになって が當日は特別市小學校

▲ 向同校では學校と見童の家庭訪問を断行することにな 家庭訪問を断行することにな 家庭的書を寄にするため近く と期待されてゐる

9-10-1170

対長、松田主計處長、そして 毛利特別會計科長だそうだ、 毛利特別會計科長だそうだ、 地よつてしまつて、爾余の諸 公が昇格ときた、そのあとの は去つてしまって、爾余の諸

廿五日總會 五 大衆食堂

總

餌

事

西

疊製作

即

me 針雙

發

EE=

AAA

==E

三二四 - 意いたので都

▶目科業營◆

製機上表新 ·械 造床敷替疊

存じて居りますだけで、詳細いた。 という とはい、先が中上げましたとほはい、先が中上げましたとほない、先が中上げましたとほどのという。

Car.

(百四十七) 正田

を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 を観(した。 田中

である。 のパミは少しも分らん、人様に がなれば、慶應の年正月、繁長 がはれば、慶應の年正月、繁長 である。 ではなかつたが、その後に

万店の一帳はに事贯待の礼建族歌お

番五一四四表代話堂(碗南江神)通贝中京新

紅花ガンドウエッチ洋葡萄季節飲電季節事物 ● 東洋食夫出前出張お師理致シマス●

お散策の赤帰にはお歌策の赤帰には

帽

子

0

七丹容器がで

11

(日 曜 木)

矢坂立六郎は拙者

ない、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混んでは、一個した。此些へ混ん

で来たのちゃし

待人がどざい

●場工定指省道鐵軍海陸●

社會式株油石善丸

社會名合油礦善丸

社會式株油石井土

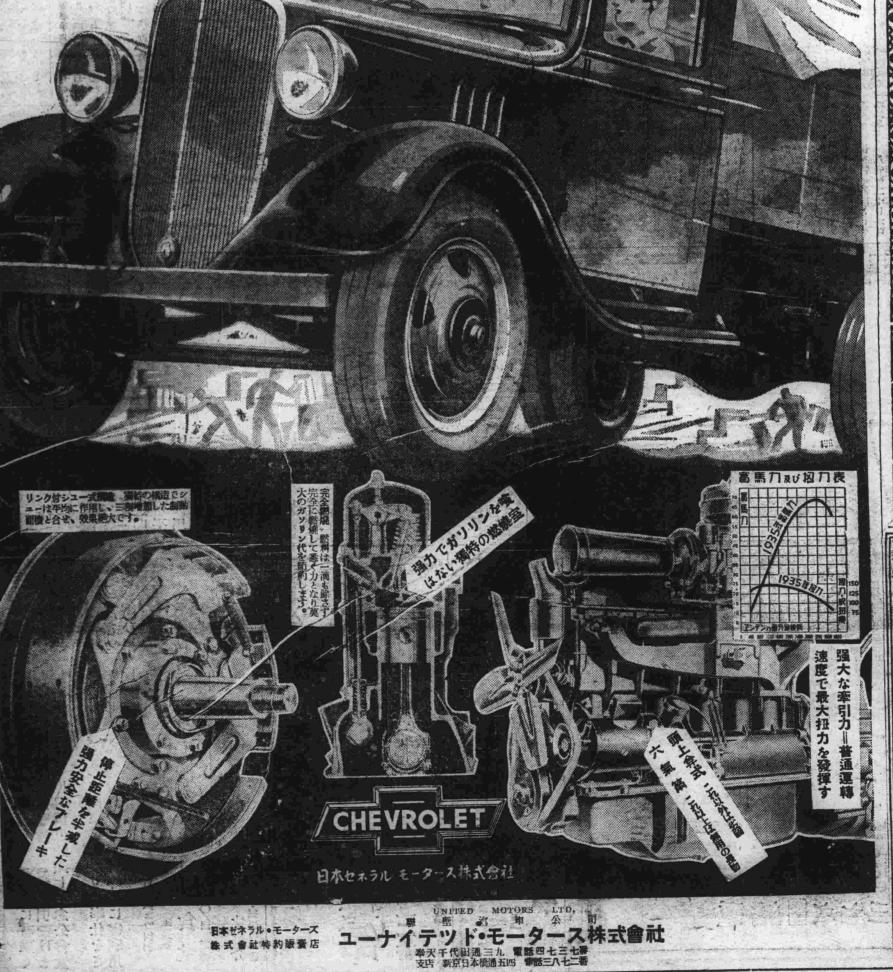
代 滿

・ では、お願の場合にしよう 「原格で知って思られたか、 とは、種質と各乗り、販薬郷の限」「はい、どうぞ矢姫棚につい とは、種質と各乗り、販薬郷の限」「はい、どうぞ矢姫棚につい

読ね下さるととは、お飾し下さい

3

北



(本 一生の灘)酒本日 今宵の酒は 本 式 酒 (來 舶 純) 酒洋 場 服・

並ニ PANCOXX ONCO 品 白 修 刀 式理卷鞘劍 中村刀劍師 新京西四馬路民政部前

*XXX*XX*XX*XX*XX*XX*XX*XX*XXX*XXX*XXX 浄装置ある篠崎ケ 商

お洗 濯

